

石裂山山行報告

【山行日】2019年 4月 21(日) 晴れ

【集 合】栃木市運動公園 P AM 7:00

【費 用】マイカー3台 : 600円

【メンバー】CL:鈴木ユ、安西、岩渕、大西、
小松原、島田、清水、関、関口、五月女、
鶴見、福田タ、藤原、松館、吉田、渡辺

【コースタイム】栃木市運動公園 P7:00＝

加蘇山神社 P7:45/8:00～加蘇山神社 8:10～

竜ヶ滝 8:40～中の宮 9:10/9:20～奥の宮 9:40

～東剣ヶ峰 10:00～石裂山 10:30/10:40～月山

11:05/11:40～竜ヶ滝 12:50/13:00～加蘇山神社 P13:30/13:50＝お毘丘尼直売所 14:20/14:35＝

栃木市運動公園 P15:00



去年の12月に石裂山に登りたいというリクエストがあり、12/6に計画したが雨で中止となった。今回は足尾植樹祭が1週遅くなったため、アカヤシオの花を求めて石裂山山行を計画した。



久しぶりの石裂山山行は人気があり21名の申し込みがあったが、山行前にキャンセルが5名あり16名での山行となった。栃木市運動公園を7時に出発し、加蘇山神社前でトイレを済ませ奥の加蘇山神社駐車場に車を止める。アカヤシオの花が見頃の時季なので、駐車場が混むと思っていたが車は数台しか無く空いていた。準備を整えてストレッチを行い、加蘇山神社の石段を登り神社に安全登山を祈

願する。登山道は神社の左手についており、すぐに沢沿いを歩くようになる。沢沿いの道を20分程歩くと、竜ヶ滝の休憩舎に着く。小休止し衣服調整をしたら出発し、5分程登ると天然記念物の「千本桂」と呼ばれる大きな桂の木がある。ここからスギ林の登山道を登り、東屋がある中の宮に着く。大休止しキーウイフルーツや菓子を食べ、これからの登りに備える。ここからはハシゴやクサリが連続するので、2班に分かれて行動することにした。A 班が先行しハシゴに取りつき、長いクサリで岩場を登って行く。登り切った先に奥の宮が祀られているが、奥の宮へは20m以上のハシゴを往復するのでA 班は登らず通過する。登山道は左に巻くように登り、小さな尾根に沿って木の根を頼りに登って行く。

尾根をたどり、岩場をクサリやアルミの橋で巻くように登ると、石裂山に続く稜線に飛び出す。



月山方面への標識があり平らな場所なので休憩し、パイナップルやロールケーキを食べてエネルギーを補給する。間もなくB班が到着し、パイナップルやロールケーキを食べたらA班が出発する。



ここから標識に従って右に進み、尾根を登るとほとんどなく東剣ヶ峰に着く。アカヤシオの花が満開で、展望所までの尾根はピンクに彩られ皆さん大満足の様子。ところがこの先が本コース一番の難所だ。まずは長いハシゴで西剣ヶ峰に降りるが、ハシゴの桟が太く握りずらい上、高度感があって怖い場所だ。西剣ヶ峰から30mほど進むと、再び急なハシゴを下降し、下り切った鞍部が御沢峠で、左手から反対側の賀蘇山神社からの道が合流している。石裂山へはここから登り返す。

岩場の急な道を登り、尾根上に上がった分岐を左に進めば石裂山山頂に出る。

山頂もアカヤシオが満開で、北側が開け日光連山を間近に望むことが出来る。分岐まで戻り、登山道を北に向かって登ると、石裂山最高峰月山山頂に着く。月山山頂には小さな社があり月読命が祀

られていたが、今は壊れてしまい残骸が残されていた。山頂でランチタイムとし、お湯を沸かして各自持参したカップ麺やスープとおにぎりをいただく。キンピラゴボウやコゴミの胡麻和え、野沢菜等々が並び豪華な昼食となった。昼食が済んだら全員の集合写真を撮り、下山を開始する。下山は東に延びる尾根を下るが、急な下りなのでゆっくり慎重に降りて行く。下り切ると緩やかな尾根歩きとなり、途中から右に杉林の中を九十九折れに下って行く。再び急な岩場を下るようになり、クサリ場を3ヶ所通過するので気が抜けない。沢沿いの道に出ると難所は終わるが、上空にヘリコプターがホバリングしていた。「何か事故があったかな？」と話しながら下り、竜ヶ滝の休憩舎に着くと石裂山で会った逆回りのグループから事故の情報を聞いた。バスで来た狭山ハイキングクラブの方が、奥の宮付近で滑落したとの事。駐車場に戻ると救急車や消防関係の車が止まり、無線で連絡を取りながら物々しい雰囲気になっていた。靴を履き替えたら車に乗り、加蘇山神社でトイレを済ませ帰路につく。途中、御毘丘尼の野菜直売所に寄り、野菜や小豆を買い予定より早く栃木市運動公園に帰着した。



に帰着した。